

令和6年度事業計画（案）について

【事業計画の特徴】

日本遺産フェスティバルの開催により、八王子市が「日本遺産のまち」であるとの認知度向上に繋がった。これを契機に、令和6年度は従来の取組みに加え、市域全体への人流促進及び経済効果の波及に繋げることを目指し、文化観光の推進に重点を置いた予算とする。

【主な取組】

1. 人材育成事業（予算規模 4,000 千円）

(1) 外国語ガイドボランティア育成

高尾山を訪れた外国人観光客に対し八王子の日本遺産ストーリーや市内に点在する様々な構成文化財の魅力をガイドとして発信する人材を育成する。

なお、本事業への参加対象を中学生及び高校生とすることで、若者世代に対する日本遺産に関する認知度向上を図るとともに、外国語能力を活用する機会を提供する。

2. 普及啓発事業（予算規模 14,000 千円）

(1) PRイベントへの出展

開催時期	イベント	開催地
8/10～8/11	「山の日」全国大会 TOKYO2024	八王子市
10/26～10/27	日本遺産フェスティバル in 極上の会津	福島県会津若松市
11/16～11/17	日本遺産フェスタ in 藍のふるさと藍住	徳島県藍住町
2/1	(仮称) 日本遺産・織物フェスタ in 桐生	群馬県桐生市
2/13 前後	日本遺産の日（日本遺産マルシェ）	千代田区有楽町

その他 小田原北条五代祭り、寄居北条まつり、ツーリズム EXPO、いちよう祭り、お城 EXPO など

(2) 桑都ブランド（織物）商品開発

八王子伝統の織物の技術とデザイン力を結び付けた高付加価値商品を開発し、EC サイトやクラウドファンディング型での販売につなげていく。

また、令和5年度からの継続的な取組として、「織物」と関連のある日本遺産認定地域と連携した商品を開発する。

(3) 桑都の食商品開発

桑都物語と関連の深い食商品を開発。各種イベントでの販売などを通じて市内外に「桑都・八王子ならではの食」を広めていく。

また、八王子市教育委員会における「100年フード」の取組と連動し、学校給食・家庭・地域販売を通じて伝統的な食文化を受け継いでいく。

(4) 日本遺産ウォーク

日本遺産に関連した古道や地域を巡り、桑都・八王子に対する歴史的魅力を再発見するウォーキングイベントを実施する。(年3回)

3. 調査研究事業(予算規模 4,000千円)

(1) 日本遺産の活用に関する調査研究

日本遺産を活用した市内回遊性の構築に関する調査や、体験型等の観光コンテンツに関する調査を実施する。

4. 活用整備事業(予算規模 4,500千円)

(1) 日本遺産PRフラッグ設置

高い集客力を持つ高尾山の来訪者に向けてより効果的に日本遺産の周知啓発を行うため、高尾山参道の街路灯にPRフラッグを設置する。

(2) 「はちはく」の展示用コンテンツリニューアル

桑都日本遺産センター八王子博物館(はちはく)に設置されている、日本遺産について分かり易く伝える展示用コンテンツのリニューアルを行う。

5. 情報コンテンツ事業(予算規模 14,500千円)

(1) 協議会ポータルサイトリニューアル

観光客が活用できる情報ページの充実を図る。(多言語化、旅マエ・旅ナカ・旅アト情報、ECサイト、イベントカレンダーなど)

(2) アクセスガイドマップ製作

日本遺産ストーリーの情報や市内に分散する構成文化財へのアクセス方法など、観光客が活用できる情報を掲載し、配布する。

(3) インフルエンサーを活用した情報発信

高尾山に興味を持つ方や観光客をターゲットに、市内に点在する構成文化財と高尾山の繋がりや魅力を発信する動画を作成・配信する。